

# J A 菊池青年部活動報告

J A 菊池青壮年部は、菊池地域8支部（菊池、七城、旭志、泗水、合志、西合志、大津、菊陽）があり、盟友320名で構成しています。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けて様々な活動を行っています。

平成27年度から始めた「チャレンジ事業コンペティション大会」は、盟友が挑戦してみたい事業を発表し競う大会であり、最優秀賞に輝くとJ A から50万円、青壮年部活動から10万円が贈られ、実際に発表した事業に取り組みることができません。平成30年度は、赤外線サーモグラフィを使って牛の体温を計り病気の早期発見に繋げ、事故を未然に防ぎたいと旭志支部が発表した「赤外線サーモグラフィを活用した牛体管理」が最優秀賞に輝きました。



▶チャレンジ事業コンペティション大会に出場した盟友ら

J A 菊池が主催する青壮年部盟友向けの「婚活事業」は、一泊二日の婚活ツアーで、菊池の観光名所を巡りながら仲を深めます。年2回行っており、毎回多くのカップルが成立し現在6組の結婚が決まっています。

食農教育活動にも力を入れており、支部ごとに地域の小・中学校、幼稚園等で体験学習などを行っています。旭志支部で行っている「ふるさとファームステイ」は中学1年生が盟友宅に一泊二日で泊まり込み、農作業を手伝い農家の生活を体験します。



▲「旭志ファームステイ」で馬の手入れをする中学生

この取り組みは26年目を迎え、青壮年部の伝統的な行事となっています。また、地域内の教育関係者と連携し

て開催する「景色の見える食卓作り推進シンポジウム」は今年度で11回目を迎え、菊池地域の食農教育の礎となっています。



▲「景色の見える食卓作り推進シンポジウム」の様子

青壮年部学習会では、今後懸念される担い手不足、労働者不足を受け、外国人労働者雇用についての学習会を行いました。

また、地上編集部から講師を招き、青壮年部活動の意義を確認し、活動参加への意欲を高めました。



▲外国人雇用学習会を受講する盟友ら

平成30年度はJ A 菊池合併30周年とともに、青壮年部発足30周年を迎え、藤木しんや参議院議員を招いて記念行事を行いました。「J A 青年組織手づくり看板全国コンクール」では菊陽支部が農協観光賞を受賞しました。



▲J A 菊池青壮年部30周年記念講演会

その他にも、J A 役員との意見交換会の場も定期的に設け、若い農業者の思いや様々な問題を役員に提起しています。今後も、地域農業・農村の振興に関する運動を積極的に展開していきます。



▲「J A 青年組織手づくり看板全国コンクール」で農協観光賞を受賞